



お話の学習指導案



教育目標

題名

- ・ うつりょうとう (ウルルンド) とトクトはわたしたちの土地! あん りゅうふく (アン・ヨンボク)

年齢

- ・ 児童(6~9歳)

主題

- ・ 目標: うつりょうとう (ウルルンド) とトクトをまもった、あん りゅうふく (アン・ヨンボク) のゆうきについてまなぶ。
- ・ 主題: ゆうき

キーワード

- ・ ゆうき, うつりょうとう (ウルルンド), トクト, うざんごく (于山国), いしふ (イ・サブ), あん りゅうふく (アン・ヨンボク), パク・オドゥン, トクトをまもる人 (チキミ), トクトけいびたい, りょうし

韓国文化

- ・ 目標: わたしたちがまもらなければならない土地、トクトについてきょうみをもつ。
- ・ 要素: トクト、トクトをまもる人 (チキミ)

韓国語

- ・ 目標: ふたつのたんごをつなげるせつぞくじょし (接続助詞) をならう。
- ・ 単語: 와 (と)、과 (と)
- ・ 表現:
울릉도와 독도
(うつりょうとう (ウルルンド) とトクト)、
안용복과 박어둔
(あん りゅうふく (アン・ヨンボク) とパク・オドゥン)



口演 活動内容



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、こんにちは！
みなさん、こんにちは。わたしはみなさんにたのしいお話を‘○○○’、
うつくしいお話のおばあちゃんです。



題名 を教える

今日、おばあちゃんがするお話は、タイトル、さっさと出てこい！
“うつりょうとう(ウルルンド)とトクトはわたしたちの土地！あん りゅうふく
(アン・ヨンボク)”です。

みなさん、お話をはじめるまえに‘トクトはわたしたちの土地’のうたをいち
どうたってみましょう。

♪うつりょうとう(ウルルンド)のなんとう(南東)がわのふなみちをいくと、87K(87ケー)／さびしいしまが一つ、とりたちのこきょう／だれがどれだけじぶんの土地だと言っても、トクトはわたしたちの土地だ！わたしたちの土地だ！

今日はうつりょうとう(ウルルンド)とトクトをまもりぬいたゆうきのあるちようせんじだいのりょうし、アン・ヨンボクのお話です。そしたらアン・ヨンボクがうつりょうとう(ウルルンド)とトクトをまもるためにどうしたのか、お話きいてみましょうか？



お話の始まりの歌を歌う

“うつりょうとう(ウルルンド)とトクトはわたしたちの土地！あん りゅうふく(アン・ヨンボク)”のお話の中へしゅっぱつ！

♪ いちにいさんし！ お話のはじまり！ わたしたちみんながたのしく、よくきいてみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんぴはできましたか？

いちにいさんし！ しゅっぱつします。パンパン～

口演 活動内容



お話を聞かせる

むかし、ちょうせんじだいのトンネというむらに、りょうしのあん りゅうふくが、すんでいました。あん りゅうふくは、わるいことをせずに、ただしいことをたくさんする人でした。ある日、トンネのうみからさかなをつかまえてかえったきたところ、うつりょうとうからきた、あるおとこにあいました。そのおとこは、あん りゅうふくに、うつりょうとうでおきたことをくわしくつたえてくれました。

“わたしがすむうつりょうとうでは、さかなをつかまえにいくと、日本人のせいで、とてもこまることがあるんです。”

あん りゅうふくは、とてもおどろいてたずねました。

“日本の人たちですか？”

“そうですよ。うつりょうとうとトクトをじぶんたちの土地だといい、さかなをぜんぶつかまえていきます。そのせいで、わたしたちがつかまえるさかなが、一ぴきもないのです。けんかをしたりもしたのですが、にげたり、むしろもどってきてらんぼうをしたりするので、うああ。ほんとうに、やってられません。”

そのことばをきいたあん りゅうふくは、このじじつをともだちのパク・オドウンにおしえました。パク・オドウンも、とてもおこりました。

口演 活動内容



お話を聞かせる

“どうしてそんなことが、わたしたちの土地、ちょうせんでおきたというのか?”

“そうだな。うつりょうとうとトクトはぜったいにわたしたちの土地ではないか!どうかれらがほしがっても、わたしたちの土地であることにはかわりはないんだ!”

“もどかしいなあ。あのおおいさかなたちをすべてかきあつめたら、かんこくのりょうしたちは、なにをたべてくらしていくんだ!”

“すぐにいっしょにいこう!”

あん りゅうふくとともだちは、すぐにふねにのって、うつりょうとうとトクトにむかいました。いってみると、うつりょうとうからきた、りょうしのいうとおりでした。

日本のふねたちが、かぞえきれないほど、おおかったのです。また、あみにかかっているさかなが、ものすごくおおかったのです。

あん りゅうふくは、とてもおこって、どなりました。

“おまえたち!さっさとしりぞかないのか!なぜ、かんこく(韓国)の土地、うみにまできてぬすんでいくのか!すぐに、おまえたちの国にかえれ!”

口演 活動内容



お話を聞かせる

しかし、日本のりょうしたちは、むしろはなでわらい、こばかにしました。

“おまえがなんで、あれこれいつてくるんだ。”

“わたしたちがなにをつかまえたって、おまえになんにもかんけいないじゃないか。”

あん りゅうふくは、より大きなこえでさげびました。

“わたしは、この国ちょうせんのりょうし、あん りゅうふくだ！すぐにしりぞかないと、ただではおかないからな！さっさとしりぞくんだ！”

しかし、日本のりょうしたちのかずとふねは、はるかにおおかったのです。いつの間にか、日本のりょうしたちがあん りゅうふくともだちをとりかこんで、こうげきしたのです。けんめいにたたかいましたが、どうすることもできずに、日本りょうしたちにつかまってしまいました。日本のふねにつかまったあん りゅうふくともだちは、手足をかたくむすばれたまま、日本につれていかれました。

“おれたち、このまましんだら、どうするんだよ。”

ともだちのパク・オドウンが、しょんぼりして、しんぱいしました。しかし、そんなときでも、あん りゅうふくはふたつのこぶしをぎゅっとにぎって、力いっぱいにいいました。

口演 活動内容



お話を聞かせる

“なにをいっているんだ。わたしたちは、まちがったことはしていない。むしろ、うまくいった。わたしはかならず日本のかしら（頭）にあって、こうしょうをするんだ。もう二どと、うつりょうとうとトクトのちかくに、ちかづくこともできないようにしてやる。”

日本にとうちゃくすると、あん りゅうふくは日本のたいしゅ（太守）のまえに、つれていかれました。たいしゅ（太守）はあん りゅうふくをみて、はなでわらいました。

“おまえか。よくもわたしたちのりょうしたちをどなったな？こわがりもせずに！”

あん りゅうふくは、たいしゅ（太守）をにらんでいました。

“そうだ。はずかしいとおもえよ！おまえたちの土地でもないところにきょかなくはいってきて、さかなをぜんぶとっていくのに、なぜどうどうとできるんだ！”

“うつりょうとうとトクトが、おまえたちの土地だという、しょうこでもあるのか？”

あん りゅうふくは、まっていたかのようにこたえました。

口演 活動内容



お話を聞かせる

“もちろんだ！むかしからちょうせんの土地だと、ちずにきろくされている。また、きよりもちょうせんによりちかいじゃないか！ちょうせんまでは、ふねで一日でいけるけれど、おまえたちの国からは五日もかかるではないか。なぜこんなこともわからないのか。”

たいしゅ（太守）も、よくかんがえてみました。そして、またたずねました。

“おまえは、ちょうせんのぐんじんなのか？なぜ、うつりょうとうとトクトをいのちをかけてまでまもるのか？わたしはおまえを、ここですぐにくろせるんだ。”

たいしゅ（太守）のことばに、あん りゅうふくはこわがるどころか、よりちからづよく、さけびました。

“わたしはちょうせんのりょうしだ。りょうしがじぶんの国のうみをあいすることはとうぜんだろう。わたしをころしても、うつりょうとうとトクトがちょうせんの土地であることにはかわりはない！”

たいしゅ（太守）は、あん りゅうふくのゆうきと国をあいするところにかんどうしました。

“なぜ、ただのりょうしが、あんなにどうどうとして、ゆうきがあるのか。わたしたちの国にあああいう人がいないとは、なさけないなあ。”

口演 活動内容



お話を聞かせる

たいしゅ（太守）は、あん りゅうふくのことばをきいて、けっしんしたようにいいました。

“よし、おまえのことばどおり、うつりょうとうとトクトはちょうせんの土地だ。これからは、そのちかくにいくりょうしをなくそう。もう、おまえたちの国にかえってもよい。”

あん りゅうふくとともだちは、ぶじにいえにかえることができました。そのあとに、日本のふねたちは、けっしてちかづきませんでした。人びとはしんぱいせずに、うつりょうとうとトクトのうみで、すきなだけさかなをつかまえました。こういうけっかになったのは、ゆうかんでかしこい、ちょうせんのりょうし、あん りゅうふくのおかげだといいます。

口演 活動内容



韓国文化, 韓国語を紹介する

みなさん、おばあちゃんがしたお話をよくききましたか? りょうしのあんりゅうふくはうつりょうとう(ウルルンド)とトクトがどの国の土地だといいましたか?

はい、とうじはちょうせん、い今はだいかんみんこく(大韓民国)の土地ですね。'ウルルンドワトクト(うつりょうとうとトクト)'で'ワ(と)'は二つのたんごをどうかく(同格)でむすぶ(つなぐ)ことばです。しかし'グア(と)'をいれるときもあります。まえのことばにパッチムがあるばあいは'グア(と)'をつけます。'アン・ヨンボクグアパク・オドウン(あん りゅうふくとパクオドウン)'のようにですね。まえのことばにパッチムがないばあいは'ウルルンドワトクト(うつりょうとうとトクト)'のように'ワ(と)'をつけます。どんなたんごとくっつけることができるのか、いちどさがしてみましょう。

あん りゅうふく(アン・ヨンボク)とパク・オドウンが日本にいったりゅうはなんでしたか?

あん りゅうふく(アン・ヨンボク)はうつりょうとう(ウルルンド)のおきあいで日本人たちがさかなをつかまえて、ちょうせんの人たちをいじめているところを見て、これを正すめに日本にいきました。かれらは、どうどううつりょうとう(ウルルンド)とトクトがちょうせんの土地だといって、日本のたいしゅ(太守)にこれをみとめさせてかえってきました。人びともあん りゅうふく(アン・ヨンボク)をうつりょうとう(ウルルンド)とトクトの見まもりといいました。今では、'トクトけいびたい'が、ひるもよるも、トクトをまもっています。かんこく(韓国)の土地、'トクト'にきょうみがあるおともだちは、'どらんどらん お話ホームページ'でくわしいないようをしらべてみてね!

口演 活動内容



お話を整理する

みなさん、おばあちゃんと“うつりょうとう（ウルルンド）とトクトはわたしたちの土地！あん りゅうふく（アン・ヨンボク）”のお話をいちどまとめてみましょうか？

うつりょうとう（ウルルンド）とトクトをまもったゆうかなあん りゅうふく（アン・ヨンボク）のおかげでちょうせんのりょうしたちはうつりょうとう（ウルルンド）とトクトのおきあいではんぱいせずにさかなをつかまえられるようになりました。今でも人びとたちはあん りゅうふく（アン・ヨンボク）のゆうきあるこうどうをおもいだして、かんしゃしているそうです。

あん りゅうふく（アン・ヨンボク）は国をあいするところをわすれないで、わたしたちみながトクトの見まもりになって‘トクトは韓国（かんこく）の土地’のうたをちからいっばいうたいましょう。

♪うつりょうとう（ウルルンド）のなんとう（南東）がわのふなみちをいくと、87K（87ケー）／さびしいしまが一つ、とりたちのこきょう／だれがどれだけじぶんの土地だと言っても、トクトはわたしたちの土地だ！わたしたちの土地だ！



お話のあとのうたをうたう

そしたら、お話のおわりのうたをいっしょにうたいながら、おばあちゃんとあいさつします。お話のおわりのうた、はじまり！

♪ いち にい さん し！お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきいてみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？
いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、ごあいさつ！

みなさん、つぎのうつくしいお話のおばあちゃんであいましょう。

さようなら！